

With After コロナを全市民で！

その他の
質問事項

- ▼ 公民館等の Wi-Fi 環境整備を
- ▼ 財政調整基金の有効活用を

公明党
なかむら
中村

つとむ
努



◆ 新型コロナウイルスの 市内経済への影響と対策

問 市の現状認識は。

答 一時期の極端な売上低迷からは持ち直しているが、元には戻っていない。観光・旅客運輸業は第二波の感染拡大により依然厳しく、製造業は世界経済の影響により6月以降の受注減少、計画休業もある。市の新型コロナウイルス感染症対策特別資金は、8月末時点で、493件約64億円利用申請があり、大きな影響を受けている。

問 新しい日常に向けた
具体策はどうか。

答 AI活用型オンデマンドバスと自動運転を組み合わせた「塩尻型 Mas 構築事業」「新規ビジネスモデルチャレンジ事業」「行政手続きの電子化に係る RPA 推進事業」などを考えている。

(官民連携推進室)

◆ 広丘東通線吉田地区

問 事業化見送りとなっていたが、条件が整った。事業計画はどうか。

答 野村桔梗ヶ原土地地区画整理地内の都市計画道路で事業費が増大する。第3期中期戦略の中で検討する。

(都市計画課)

◆ 防犯灯LED化

問 改修の補助申請の状況はどうか。

答 対前年度80%増の942灯の希望が出ている。予算編成で検討するが、各区に調整してもらう可能性もある。

(地域振興課)

要望 市でも100%を目指すのだから希望通りの予算を付けるべきだ。

(地域振興課)



えんぱーく相談窓口

コロナ危機を支え合いで乗り越えて

その他の
質問事項

- ▼ 申請書類等の簡素化について
- ▼ 市長5期目前半の成果と後半の課題について

市民派連合
ふるはた ひでお
古畑 秀夫



◆ 新型コロナウイルス検査体制

問 社会活動を進めるにはPCR検査などの体制を拡充し、感染拡大を防ぐことが必要では。

答 松本圏域の検査体制を、新たに2カ所目となる「外来・検査センター」を設置し、体制の拡充を図っている。

(健康づくり課)

◆ 学校のICT化は

問 GIGAスクール構想のスケジュールとメリット、デメリットは。

答 校内情報通信ネットワーク整備工事と児童生徒1人1台の端末整備を進めており、本年度中に整備を図る予定である。

次にメリットとしては「発言に消極的な児童生徒でも積極的に参加しやすくなる」「先生がプリントを用意する時間などを削減できる」「またデメリットとしては「手書きのメリットが減ること」「情報機器を使うことが

目的になってしまうと授業効率が悪くなってしまふ」等が挙げられる。

(教育総務課)

要望 子どもたちの過度な使用は視力低下や肩こり、電磁波などに体に悪影響があると言われている。活用に注意をされたい。

◆ 奈良井川、小曾部川の 河川整備について

問 河川敷の立木伐採と浚渫工事の実施を。

答 本年度、奈良井川は琵琶橋から桔梗大橋までを樹木除去と堆積土砂の撤去を予定。小曾部川は奈良井川合流地点から岩垂橋までを2年間の予定で計画している。

(建設課)



奈良井川の立木 (太田橋周辺)